

# 第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標2

誰もが健やかに暮らし活躍できるまち

施策2-1 地域医療の充実

施策2-2 健康づくり支援

施策2-3 出産・子育て支援の充実

施策2-4 保育及び幼児教育の充実

施策2-5 高齢者福祉の充実

施策2-6 障がい者福祉の充実

施策2-7 地域福祉の充実

施策2-8 多様性のある社会の実現

施策2-9 保険・年金制度の運営

担当課		健康推進課	施策2－1の全指標達成率					
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	1	地域医療の充実	指標数	9	9	9	9	9
目指す姿	市民・観光客等が質の高い医療を受けることができる		達成数	8	7	8	7	0
			達成率	88.9%	77.8%	88.9%	77.8%	0.0%

1 成果指標（KPI）		基準値	指標数	1	1	1	1	1
			達成数	1	1	1	1	0
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
成果指標	地域医療支援病院の継続	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位
		R1 承認要件 達成	目標値 実績値 評価	要件達成 要件達成 ○ 達成	要件達成 要件達成 ○ 達成	要件達成 要件達成 ○ 達成	要件達成 要件達成 ○ 達成	健康推進課
目標値 の 考え方	地域医療支援病院の継続は、「紹介率80%以上」、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」、「紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上」のいずれかを満たすことが承認要件の一つとされていることから、目標値は数値目標とはせず要件達成とした。							
R 3 年 度	(実績評価)・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。  (次年度修正点)・今後も医療機関の機能分担について啓発を行い、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより病診連携を進めていく。							
R 4 年 度	(実績評価)・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。  (次年度修正点)・今後も医療機関の機能分担について啓発を行い、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより病診連携を進めていく。							
R 5 年 度	(実績評価)・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。  (次年度修正点)・今後も医療機関の機能分担について啓発を行い、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより病診連携を進めていく。							
R 6 年 度	(実績評価)・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。  (次年度修正点)・今後も医療機関の機能分担について啓発を行い、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより病診連携を進めていく。							

O2 伊東市民病院の運営の充実	達成状況	指標数	1	1	1	1	1	
		達成数	0	0	0	0	0	
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
O201 伊東市民病院の医療機能の向上と健全な経営	伊東市民病院の常勤職員数	R1 414人	目標値 420	420	420	420	420	人 健康推進課 以上
R3	O201 昨年度に比べ常勤職員数は増加しているものの、全体の職員数は目標値には届かず不足していることから、引き続き伊東市民病院と連携し支援を行っていく。		実績値 400	394	385	356		
R4	O201 常勤職員数は目標に達しなかったことから、引き続き伊東市民病院と連携し、医師確保に向けた交付金を活用することで、医療機能の向上と健全な経営に向けた支援をしていく。		評価 × 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		
R5	O201 常勤職員数は目標に達しなかったことから、引き続き伊東市民病院と連携し、医師確保に向けた交付金や医療職をはじめとした専門職に対する移住補助を活用することで、医療機能の向上と健全な経営に向けた支援をしていく。							
R6	O201 常勤職員数は目標に達しなかったことから、引き続き伊東市民病院と連携し、医師確保に向けた交付金や医療職をはじめとした専門職に対する移住補助を活用することで、医療機能の向上と健全な経営に向けた支援をしていく。							
O3 救急医療体制の整備		達成状況	指標数 2	2	2	2	2	
			達成数 2	2	2	2	0	
			達成率 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
O301 伊東市民病院が担う第2次救急医療体制の整備	診察日数	R1 366日	目標値 365	365	366	365	365	日 健康推進課
O302 第一次救急医療を担う伊東市立夜間救急医療センターや地域内の医療機関及び第三次救急医療機関との連携強化	第一次、第二次救急の診察日数	R1 366日	実績値 365	365	366	365		日 健康推進課
R3	O301 診察日数は目標に達していることから、現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。 O302 診察日数は目標に達していることから、現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。		評価 ○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		
R4	O301 診察日数は目標に達していることから、現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。 O302 診察日数は目標に達していることから、現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。							
R5	O301 診察日数は目標に達していることから、現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。 O302 診察日数は目標に達していることから、現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。							
R6	O301 診察日数は目標に達していることから、現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。 O302 診察日数は目標に達していることから、現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。							

O4 観光と医療との連携推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2				
			達成数	2	2	2	2	0				
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%				
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
O401 来遊客も安心して訪れることができる救急医療体制の整備	休日当番医診療日数	R1 76日	目標値	71	71	71	71	71	日以上	健康推進課		
			実績値	71	71	72	72					
			評価	○	達成	○	達成	○				
O402 来遊客の利用も考慮し医観連携の推進に資する健診機能の充実	健診センター数	R1 1施設	目標値	1	1	1	1	1	施設以上	健康推進課		
			実績値	1	1	1	1					
			評価	○	達成	○	達成	○				
年度評価	R3 O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。											
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。											
	R4 O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。											
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。											
	R5 O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。											
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。											
	R6 O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。											
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。											

担当課	健康推進課	施策2－2の全指標達成率					
政策目標	2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	2 健康づくり支援	指標数	20	20	20	20	20
目指す姿	市民がライフステージに合った、健康的でいきいきとした生活を送ることができる	達成数	4	4	6	8	0
		達成率	20.0%	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%

成果指標 1	健康寿命（お達者度）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		H28 男性 17.48年 女性 20.30年	目標値 女性20.84	男性18.08 女性20.93	男性18.22 女性21.01	男性18.37 女性21.10	男性18.51 女性21.19	年 以上	健康推進課
			実績値 —	—	—	—	—		
成果指標 1	お達者年齢	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		※1	目標値 —	—	—	—	—	歳 以上	健康推進課
			実績値 女性84.2	男性79.0 女性84.2	男性78.8 女性83.6	男性78.9 女性83.6	R8.9公表		
目標値 の 考え方	長く健康で自立した生活を送るため、静岡県の過去公表資料を基に推計した将来予測値を設定。今後、令和3年度以降の実績を基に、令和8年度以降の推計をしていく。	評価	—	—	—	—	—		
成果指標 2	健康意識（いとう健康マイレージ 参加者数）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1 17,550人	目標値 17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	人 以上	健康推進課
			実績値 16,032	16,701	17,014	17,377			
目標値 の 考え方	健康づくりに取り組むきっかけとし、各種健康診断やがん検診等の受診促進と、健康教室や介護予防活動などへの参加を通じ運動習慣を持つ人の増加につなげることで、伊東市民の健康意識の向上と健康寿命の延伸を図る。	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
R 5 年 度	2(実績評価) (次年度修正点)	・運動教室や健康相談などが再開できたことや医療機関への受診控えも少なくなり参加者の増加傾向が見られたが、健診受診者はコロナ禍以前までの状態には回復しなかったことにより、目標は未達成となった。 ・健康マイレージ対象事業である検（健）診や健康講座の周知を図り、健康づくりに取り組む市民を増やす。							
R 6 年 度	2(実績評価) (次年度修正点)	・運動教室や健康相談などの参加者及び健診受診者もWEB予約などにより増加し、昨年度よりも300人以上増えたが、目標は未達成となった。 ・健康マイレージ対象事業である検（健）診や健康講座、民間業者等の周知を図り、健康づくりに取り組む市民を増やす。							

※1 お達者度は令和5年度に公表された令和2年度実績をもって廃止となり、令和6年9月9日に公表された令和3年度実績からは、算出方法が異なる  
お達者年齢にて管理していくことになったため、成果指標を変更する。令和3年度以降の実績を集計し、令和8年度以降の目標値を推計していく。

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）	達成状況	指標数	18	18	18	18	18	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		達成数	4	4	6	8	0	
		達成率	22.2%	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%	
O1 ライフステージに応じた健康づくりの推進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
		達成数	0	0	1	2	0	
		達成率	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	
O101 年代別の健康の特徴に合わせた事業の実施	健康教育利用者数 7,378人	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位
		R1	目標値 7,398	7,418	7,438	7,458	7,478	人 以上
			実績値 3,327	4,819	5,823	7,597		健康推進課
O102 民間施設や運動指導の専門職等と連携した参加しやすい健康づくり事業の実施	運動初心者を対象にした教室※2の延べ参加者数 527人	基準値	R1	目標値 700	700	700	700	人 以上
			実績値 324	642	817	1,226		健康推進課
		評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成		
R 3 年 度 評 価	O101 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室は中止又は参加人数の制限等規模を縮小して実施している。特に不特定多数が参加するキャンペーン事業を中止したため利用者数が大幅に減少した。							
	O102 同上の理由により、参加者数が減少している。また2つの運動教室が高齢者福祉課へ移ったことも参加者数の減少の要因となっている。							
	O101 新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、事業所等での健康講座を再開し、各種健康教室への参加者が増加した。しかし、健康チェック事業や健康づくりキャンペーンなどの不特定多数が参加する事業は中止しているため、今後は感染症対策を行なうながら再開していきたい。							
R 4 年 度 評 価	O102 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた教室を再開したことにより、それぞれの教室参加者が増加した。教室実施時期を感染症が落ち着いてきた12月以降にしたことで、市民が参加しやすくなったことが要因と考えられる。引き続き、感染症対策を行なうながら魅力ある教室内容を提供するように努める。							
	O101 健康チェック事業や各種健康教室などの開催回数が増えたため、利用者の増加につながった。しかしながら、目標値に達しなかったのは機会の提供が不足していると考えるので、充足を図る。							
	O102 運動習慣の促進を目的とした、新規健康講座の開催など各種教室の開催回数が増えたため。							
R 5 年 度 評 価	O101 健康機器を使った健康チェック事業や運動や食生活などの健康教室の増加により、目標値を達成できた。また、健康講座の依頼も増えており周知に力を入れる。							
	O102 市内スポーツジムを介して静岡県エアロビック連盟と連携した教室を実施したことや、壮年期が参加しやすいように夜間の運動教室を開催したことにより、参加者が増加した。今後は運動に関心がない人が参加しやすい企画を検討していく。							

※2 運動初心者を対象にした教室：運動を始めたいきっかけエクササイズ、男性限定の運動教室、ゆるトレーディース、特定保健指導運動支援等

O2 生活習慣病対策		達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
			達成数	0	0	0	0	0	
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課	
O201 生活習慣病に関する知識の普及啓発	特定保健指導実施率 33.8%	R1	目標値 49.0	54.0	60.0	35.0	40.0	% 健康推進課 以上	
O202 禁煙・受動喫煙に関する情報提供		R1 11.3%	実績値 30.5	26.3	18.6	16.6		% 健康推進課 以下	
O203 歯周病等歯の健康に関する健康教育の実施		R1 3,709	評価 × 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		人 健康推進課 以上	
R3 O201 保健師等からの電話による利用勧奨や、医療機関等による利用勧奨などを実施しているが、勧奨通知だけでは利用に至らないケースが多く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での指導を拒否するケースもあったため、実施率は減少した。									
R3 O202 各種健康相談での個別禁煙指導や、職域健診時の禁煙に関する情報提供を行ったことにより、喫煙率は減少しているものの、目標達成には至らなかった。									
R3 O203 新型コロナウイルス感染症拡大による講座・教室等が中止になったことに伴う参加人数の減。国・県からの新型コロナウイルス関連情報の収集を積極的に行い、開催時期の変更など検討する。									
R4 O201 個別対応となる特定保健指導については、経済活動を優先するなど利用を控える傾向が見られ、前年度を下回った。今後は、ICTの利活用など対象者が気軽に利用できるサービスを提供できるように努めたい。									
R4 O202 新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、特定健診受診率は増加した一方で、喫煙率は減とならなかった。今後も継続的に禁煙、受動喫煙の健康への影響について周知していく。									
R4 O203 令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の理由による歯科教室等の一部中止や、対象施設の園児、児童、生徒数の減少により、目標人数を大幅に下回った。社会的要因に影響を受けるが、継続的に周知方法も考慮して事業展開していく。									
R5 O201 特定保健指導対象者に対して面談指導等の機会を複数用意しているが、40、50歳代の利用率の低さに加えて、勧奨専門職員の確保が困難であった。引き続き、有資格者専門職人員の安定的確保を図り、事業の充実に努めていく。									
R5 O202 健康相談を13回1,344人、健康教育を21回463人にに対して実施した。喫煙が習慣化している人へのアプローチ方法に改善が求められている。各種好事例等を参考に対応を検討したい。									
R5 O203 対象施設での歯科教室等の実施回数が増加したことで参加人数も増加した。実施内容としては、対象となる施設と打ち合わせを行い、適切な支援を施設毎に提供している。児童生徒数の減少が大きく影響しているが、歯科教室等の開催方法について、様々な機会を捉えて実施していく。									
R6 O201 前年度比2ポイントの減となり目標未達成となった。特定保健指導の初回利用率の低下が要因となっているため、オンラインでの実施など利用者が取り組みやすい環境を整えるとともに特定保健指導の効果を周知し、実施率の増加を図り、生活習慣病を予防していく。									
R6 O202 喫煙率に変化はなく目標は達成できなかったが、健康相談を5回690人、健康教育を34回1,266人に対して実施し、喫煙が習慣化する前からの教育と受動喫煙防止に力を入れた。今後も受動喫煙防止を広めることから喫煙を防止していく。									
R6 O203 対象の園児や児童数が減少しているため目標値には達しないが、災害時対応の啓発を高齢者健康体操クラブの20か所532人に実施したため、昨年より実績値は上がった。また、別途出張相談を328人に対し行い、健康に関する正しい知識の普及啓発を実施している。									

O3 健全な食生活の推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
			達成数	1	1	1	1	0	
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課	
O301 ホームページ等ICTを活用した望ましい食生活の情報発信	ICT活用回数 ※3	目標値 —	4	4	5	5	6	回 健康推進課 以上	
O302 伊東ならではの食材を生かした地域の食文化の継承、食育推進団体との連携強化		実績値 ※3	8	8	6	6			
O302 登録団体は、昨年度より1団体少なく23団体であった。また、コロナ禍で食イベントの活動が中止となり、目標値は達成できなかった。引き続き食育推進団体と連携し、活動の増加を目指す。		評価 ○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			人 健康推進課 以上	
R3 O301 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、栄養講話や料理教室が中止となつたため、料理動画を撮影し普及啓発に努めた。									
R3 O302 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、食のイベント等が中止となつたため。									
R4 O301 ICT活用回数は目標に達していることから、今後も望ましい食生活の情報を発信し、健全な食生活を推進していく。									
R4 O302 登録団体は、昨年度より4団体少なく19団体であった。コロナ禍以降の食イベントが縮小していて、目標値は達成できなかったが、「産業フェアしおおか2023」を視察し、他地域の地産地消やPR方法等を学び、連携強化に努める。									
R5 O301 ICT活用回数は目標に達していることから、今後も望ましい食生活の情報を発信し、健全な食生活を推進していく。									
R6 O302 食育推進団体の登録が、昨年度より2団体少なく17団体に減っていることから目標値は達成できなかったが、「産業フェアしおおか2024」の視察や指導者向け研修会を2回実施し、連携強化に努めた。									

※3 令和3年度からの新規事業のため、基準値を一とした。

04	受診しやすい健（検）診の環境づくりと健（検）診内容の充実	達成状況	指標数	1	1	1	1	1
			達成数	0	0	0	1	0
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	O401 伊東市医師会等と連携した受診しやすい体制の整備	各種健（検）診の市内での実施医療機関の增加数 ≈4	R1 ○機関	目標値 2	実績値 0	評価 × 未達成	2 1 6	2
							○ 達成	毎年 健康推進課 以上
R3	O401 伊東市医師会等と連携した受診しやすい体制の整備を目指したが増加はできなかった。今後も市民からの要望が多い、各種健（検）診を同じ会場で受診できる総合的な健（検）診体制を目指し、実施医療機関数を増やしていく。							
R4	O401 目標の2件増加までは達成できなかったが、特定健診・後期高齢者健診実施医療機関が1件増え、大腸がん・39歳以下健診等の健（検）診と同時にできる医療機関が増えた。引き続き受診機会の増加に向けて、受診動向を踏まえ伊東市医師会等へ働きかけたい。							
R5	O401 特定健診と後期高齢者健診の実施医療機関が1機関増加した。							
R6	O401 胃がん検診の実施に伴い医師会医療機関のうち胃内視鏡検査を実施している6医療機関が追加となった。そのため、その6医療機関においては同時に実施できるがん検診項目（胃がん検診）が増加した。							

※4 市外での実施医療機関体制構築が困難なため、管理指標を「市内」と修正したことに伴い、目標値を「3」から「2」とした。

05	こころの健康づくりの推進	達成状況	指標数	6	6	6	6	6
			達成数	3	3	3	3	0
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	O501 健康講座等における情報提供の充実	情報提供機会	R1 5回	目標値 15	実績値 15	評価 ○ 達成	20 15 × 未達成	25 15 × 未達成 × 未達成
								回 健康推進課 以上
	0502 庁内各部署及び伊東市医師会等関係機関とのネットワークを利用した支援体制の構築と人材育成	会議開催数	R1 1回	目標値 1	実績値 0	評価 × 未達成	1 0 × 未達成	1 0 × 未達成 × 未達成
								回 健康推進課 以上
	O502 研修開催数（職員対象自殺対策研修）	R1 1回	目標値 1	実績値 1	評価 ○ 達成	1 1 ○ 達成	1 1 ○ 達成	1 1 ○ 達成
								回 健康推進課 以上
	O502 研修開催数（ゲートキーパー研修）	R1 2回	目標値 2	実績値 3	評価 ○ 達成	2 3 ○ 達成	2 3 ○ 達成	2 3 ○ 達成
								回 健康推進課 以上
	O503 インターネットを利用したセルフチェックの普及啓発	こころの体温計アクセス数	R1 8,587件	目標値 10,000	実績値 7,395	評価 × 未達成	10,000 6,702 × 未達成	10,000 6,776 × 未達成 × 未達成
								件 健康推進課 以上
	O504 こころの相談事業の利用促進	メンタル相談の実施回数	R1 10回	目標値 12	実績値 10	評価 × 未達成	12 12 ○ 達成	12 12 ○ 達成
								回 健康推進課 以上

年度評価	R3	O501 自殺対策ネットワーク構成団体、医師会医療機関等の支援機関及び骨粗しう症事後教室等の健康教室で周知を実施した。来年度以降もあらゆる機会を通して周知を実施していく。							
		O502 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自殺対策ネットワーク会議は中止となった。しかし、メール等を通じて自殺対策の情報や自殺対策研修について周知し、情報共有を図った。職員を対象とした自殺対策研修、ゲートキーパー養成研修については来年度以降も実施していく。							
		O503 こころの体温計だけでなく、メルマガを通じてこころの支援窓口等の周知を図った。また、こころの体温計にリンクを貼り、こころの相談窓口、メンタル相談、ゲートキーパー養成研修等の周知を図った。							
		O504 定例のメンタル相談の実施回数は10回であった。しかし、メンタル相談を実施していることで市民や支援機関からの問い合わせや相談があり、電話や来所等に対して応対した。							
		O501 保健委員・民生委員や市役所管理職へのメンタルヘルスについての講座や市民・市役所新規採用職員対象のゲートキーパー研修を実施した。今後も健康の社会的決定要因を考慮し、日程調整をしながら研修を実施していく。							
R4	R4	O502 コロナ禍により会議の開催ができなかったが、自殺対策計画進捗シートを活用し、府内各部署から回答を得て状況把握に努めた。コロナ禍で得た啓発方法（SNS、ZOOM等）を参考に会議と同等の手法を検討したい。							
		O503 チラシや伊東市ホームページを活用し積極的にPRに努めたが、アクセス数の目標値まで達成できなかった。次年度は、伊東市メールマガジン等のSNSも活用し、若い世代にも理解や利用が得られるようPRの強化を図りたい。							
		O504 伊東市メールマガジンを活用し、メンタル相談で相談できる内容の一部を具体的に「季節による不調」や「それぞれの年齢での悩み」なども相談できる旨掲載したところ、すぐに定員に達しキャンセル待ちや他の相談機関を紹介することもあった。							
		O501 保健委員や市役所管理職へのメンタルヘルス講座、市民や市役所の新規採用職員などを対象としたゲートキーパー研修などを実施した。関係部署との連携、協力、理解が必要となるので、引き続き研修等の機会を検討する。							
		O502 自殺対策計画進捗シートを活用し、府内各部署から回答を得て状況把握に努めた。令和6年度より第2次伊東市いのち支える自殺対策計画が施行されることから、取組内容の強化を図っていく。							
R5	R5	O503 各種研修会等でのPRやチラシ・クリアホルダー・伊東市ホームページを活用したPRに努めたため、前年度よりアクセス数が微増した。今後もセルフチェックの普及啓発に努めていく。							
		O504 メンタル相談が市役所他部署においても定着しつつあり、紹介も増加している。相談後のつなぎ先についても連携の強化が必要である。							
		O501 保健委員、市役所管理職に対しメンタルヘルスについての講座を実施した。関係部署との連携、協力、理解が必要となるため、引き続き研修等の増回を検討する。							
		O502 一般市民、市役所新規採用職員、保険会社職員にゲートキーパー研修を実施。職域への知識普及を強化していく。							
		O503 昨年から引き続き、「こころの体温計」に加え、メルマガ等での相談窓口等の情報提供を強化したが、良好な人は継続してチェックをしないため、周知方法を見直すとともに、来年度以降は目標値の修正も検討する。							
R6	R6	O504 メルマガによる募集や伊豆新聞等でのPRを強化するとともに、各種相談でも案内のチラシ等の配布を強化した。							

06 感染症対策の推進		達成状況	指標数	4	4	4	4	4
			達成数	0	0	1	1	0
			達成率	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
0601 感染症に関する正しい知識の普及	講習会開催数	R1 4回	目標値 実績値 評価	10 5 × 未達成	10 5 × 未達成	10 5 × 未達成	10 5 × 未達成	10 5 × 未達成
0602 予防接種の実施及び検診体制の整備	定期予防接種の接種率	R1 97.4%	目標値 実績値 評価	100 99.6 × 未達成	100 85.9 × 未達成	100 88.5 × 未達成	100 90.7 × 未達成	100 90.7 × 未達成
0603 感染症を予防する生活習慣づくり	肺がん・肺結核検診受診率	H30 11.4%	目標値 実績値 評価	360 10.3 × 未達成	360 10.4 × 未達成	360 R8.2公表 × 未達成	360 R9.2公表 × 未達成	360 R9.2公表 × 未達成
0604 災害時の感染症予防について関係医療機関との連携強化	災害時医療救護等対策連絡会の実施	R1 2回	目標値 実績値 評価	2 0 × 未達成	2 1 × 未達成	2 2 ○ 達成	2 2 ○ 達成	2 2 ○ 達成
年 度 評 価	0601 保健委員の全員研修会で実施。後半の研修が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になり10回実施予定が5回になった。							
	0602 接種時期の紹介などの接種勧奨を実施し、全体の接種率としては、100%に近づいているが、種類ごとにみると80%前後に留まっている予防接種もあり、目標達成には至らなかった。							
	0603 推計対象者数8,585人受診者2,741人 R2はコロナ禍で受診者が減ったが、R3は少しずつではあるが受診者は増加している。さらに感染対策を強化し、受診勧奨を図る。							
	0604 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
	0601 保健委員の研修会で感染予防の研修を実施。特に手洗いの重要性をPRするために手洗いチェックカードを用いて、保健委員が自ら「正しい手洗い方法」についての研修を行ったが未達成であった。今後、福祉施設等から講習会開催の依頼があった際には、健康の社会的決定要因に考慮しながら開催方法を検討していく。							
	0602 令和4年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（14.1%）が全体接種率の減少に影響している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。							
	0603 推計対象者数26,146人受診者2,713人 令和3年度及び令和4年度は少しずつではあるが受診者は増加している。さらに感染対策を強化し、受診勧奨を図る。なお、県の推計総数が令和3年度及び令和4年度では違っているので、目標値は今後の数値で修正する。							
	0604 新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、令和3年度と同様に中止した。今後、新型コロナウイルスによる制限が緩和された中で、健康の社会的決定要因を考慮しながら開催していく、関係医療機関との連携強化に努める。							
	0601 目標値には届かなかったが、保健委員対象に感染症に関する支部研修を5回実施したほか、担当保健師からは日常的に事業を実施する中で感染症対策に関する周知啓発活動を行った。							
	0602 令和4年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（12.9%）が全体接種率の低下に影響している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。							
	0603 令和8年2月公表予定							
	0604 年2回開催し、目標に達した。今後は、連絡会を通じ感染症予防を鑑みた訓練内容の検討や資機材の購入について関係医療機関と連携を図っていく。							
	0601 昨年度と同じく保健委員の研修会にて実施、コミセンまつり等で保健委員通信等でのPRも行い実施したが、目標値には届かなかつたため、更に増回について検討する。							
	0602 令和4年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（20.9%）が全体接種率の低下に影響しているが、確実に接種率は向上している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。							
	0603 令和9年2月公表予定							
	0604 年2回開催し目標を達成した。今後は、感染症予防をテーマにした訓練内容について連絡会で検討するとともに、関係医療機関とも情報共有を図っていく。							

担当課		子育て支援課	施策2-3の全指標達成率					
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3	出産・子育て支援の充実	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿		子育て世代が安心して出産ができ、心身共に健やかに子育てができる	達成数	7	9	12	11	0
		子どもが心身とともに健やかに成長できる	達成率	43.8%	56.3%	75.0%	68.8%	0.0%

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）		指標数 達成数 達成率	14	14	14	14	14	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
			6	8	11	10	0		
			42.9%	57.1%	78.6%	71.4%	0.0%		
O1 子育て世帯の経済的支援の推進	達成状況	指標数 達成数 達成率	5 2 40.0%	5 2 40.0%	5 3 60.0%	5 3 60.0%	5 0 0.0%		
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 誕生祝金の贈呈	出生数（暦年）	R2 242件	目標値 実績値 評価	230 208 × 未達成	235 215 × 未達成	240 212 × 未達成	245 171 × 未達成	250	件以上 子育て支援課
O102 子育て支援医療費助成	制度周知の回数	R2 1回	目標値 実績値 評価	2 2 ○ 達成	3 3 ○ 達成	3 3 ○ 達成	3 3 ○ 達成	3	回以上 子育て支援課
O103 妊産婦健診助成	妊婦健診助成件数 ※5	R1 271件	目標値 実績値 評価	260 235 × 未達成	265 240 × 未達成	— — —	— — —	—	件以上 子育て支援課
	産婦健診助成件数 ※5	R1 257件	目標値 実績値 評価	250 223 × 未達成	255 205 × 未達成	— — —	— — —	—	件以上 子育て支援課
O104 不妊治療費助成	延べ支給人数	R1 81人	目標値 実績値 評価	85 88 ○ 達成	85 106 ○ 達成	85 56 × 未達成	85 44 × 未達成	85	人以上 子育て支援課
O105 妊産婦健診助成	妊婦健診助成率 ※5	R4 100%	目標値 実績値 評価	— — —	— — ○ 達成	100 100 ○ 達成	100 100 ○ 達成	100	%以上 子育て支援課
	産婦健診助成率 ※5	R4 100%	目標値 実績値 評価	— — —	— — ○ 達成	100 100 ○ 達成	100 100 ○ 達成	100	%以上 子育て支援課
年度評価	O101 出生数の減少により目標を達成できなかった。出産・子育て支援制度を充実させ、子育て世代が安心して出産・子育てできる環境を整えていきたい。								
	O102 2回の周知完了により、目標を達成できた。								
	O103 妊婦健診の助成は100%であるが産婦健診が100%になっていないため周知や受診勧奨等を充実していきたい。								
	O104 充分な周知により、不妊治療費助成利用の目標値を達成できた。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。								
	O101 目標値は達成できなかつたが出生数は昨年度より増加した。今後も出産・子育て支援制度を充実させ、子育て世代が安心して出産・子育てできる環境を整えていきたい。								
	O102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。								
R4	O103 妊婦健診及び産婦健診の助成率は100%であったが、目標は達成できなかつた。出生数は令和元年と比較すると減少傾向であり、今後も増加する見込みがないため、管理指標を見直し、管理指標O105を新設した。								
	O104 新制度の開始により、旧制度適応の申請者が増え全体として申請者数が増加した。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。								
R5	O105 引き続き、医療機関及び妊娠婦に周知するとともに、新たに妊娠8ヶ月アンケートを利用した周知方法を検討していく。								
	O101 出生数の減少により目標を達成できなかつた。出産・子育て支援制度の充実、制度の周知に努めて、子育て世代の出産・子育てを支援していきたい。								
R6	O102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。								
	O104 令和4年度から保険適用になり1年が経過し、旧制度の申請者は0で申請者数としては減少した。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。								
R6	O105 妊娠届を提出した全ての妊娠婦に対し、健診の助成ができている。引き続き、あらゆる方法で周知し漏れのないようにしていく。								
	O101 出生数の減少により目標を達成できなかつた。出産・子育て支援制度の充実、制度の周知に努めて、子育て世代の出産・子育てを支援していきたい。								
R6	O102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。								
	O104 申請者数としては減少している。申請を希望する方への周知や相談体制が漏れのないように努めていきたい。								
R6	O105 妊娠届を提出した全ての妊娠婦に対し、健診の助成ができている。引き続き、あらゆる方法で周知し漏れのないようにしていく。								

※5 出生数が減少傾向にあるため、管理指標O103を見直し、管理指標O105を新設した。



O3 ひとり親家庭の自立促進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
		達成数	2	1	2	2	0	
		達成率	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
O301 自立支援教育訓練及び職業訓練促進給付等の就業支援	100%	R1	目標値	100	100	100	100	% 子育て支援課
		R1	実績値	100	100	100	100	
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		
O302 子育てや生活に係る相談支援体制の強化	55%	R1	目標値	53.0	54.0	55.0	56.0	% 子育て支援課
		R1	実績値	66.6	50.0	85.7	71.4	
		評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成	以上	
年度評価	R3	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。						
	R4	O302 就職者数は目標値を達成しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で求人が少なかったこともあり、相談があったものより良い条件の就職に結びつけることができず現状維持の案件があった。						
	R5	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。						
	R6	O302 新型コロナウイルス感染症の影響等により求人が少なかったこともあり、良い条件の就職に結びつけることができず目標未達成となった。今後はハローワークとの連携を更に密にするとともに、相談者に対しきめ細かなサポートを行い、自立に向けた支援をしていく。						
	R3	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。						
	R4	O302 コロナ禍が明け、求人活動の活発化と出張ハローワーク等のイベント効果もあり、目標値を達成することができた。今後もハローワークとの連携を密にするとともに、相談者へのきめ細かなサポートを継続していく。						
	R5	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。						
	R6	O302 ハローワークとの連携を継続したことで、目標値を達成することができた。コロナ禍が明けた直後の求人活動の活発化は落ち着きを見せているが、引き続き相談者へのきめ細かなサポートを継続していく。						

O4 子どもが安心して暮らせる環境づくりの推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
		達成数	0	2	2	1	0	
		達成率	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
O401 地域での子どもの見守り活動を行うとともに子どもの居場所づくりの推進	19.9%	R1	目標値	17.0	20.5	22.0	23.5	% 子育て支援課
		R1	実績値	12.6	11.1	14.3	16.9	
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		
O402 児童虐待の早期発見及び早期対応並びに未然防止のための関係機関との連携強化	30回	R2	目標値	6	7	8	9	箇所 子育て支援課
		R2	実績値	5	7	9	10	
		評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	以上	
年度評価	R3	O401 新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により目標を達成できなかった。感染症対策を行い、児童館の利用者数、子ども食堂の実施箇所数の増加に取り組みたい。						
	R4	O402 個別ケース検討会議の回数は目標値を下回った。R4からは児童相談所の大幅な人員増により、通告前ケースであっても児童相談員がケース会議に参加できるようになったので、今後は積極的にケース会議を開催し、専門家を招致することで、児童虐待の早期解決を図りたい。						
	R5	O401 新型コロナウイルス感染症による影響が尾を引き、目標を一部達成できなかった。生活様式の変更に応じて柔軟に対応し、児童館の利用者数、子ども食堂の実施箇所数の増加に取り組みたい。						
	R6	O402 積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。児童相談所の体制強化により、令和4年度から未通告ケースについても児童相談員がケース会議に参加できるようになったことも積極開催の一助となった。						
	R3	O401 新型コロナウイルス感染症が第5類になり、コロナ禍以前の状況に戻りつつあるが、目標値を一部達成できなかった。コロナ禍による生活様式の変更に応じて柔軟に対応し、子どもの居場所づくりの推進に取り組みたい。						
	R4	O402 積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。要保護児童対策地域協議会実務者会議終了後にケース会議を開催する等、関係機関が参集しやすい工夫を講じた。						
	R5	O401 児童館利用者数については、目標未達成だが、過去4年で最多の利用者数であった。子ども食堂の実施箇所数については、毎年増加傾向にあり、目標を達成している。利用者の声を聴き、引き続き子どもの居場所づくりの推進に取り組みたい。						
	R6	O402 相談受理件数、通告受理件数及び要保護児童対策地域協議会管理ケース件数が前年度比約3割減少する等の影響により目標を達成できなかった。令和5年度から事業化している専門家を招致したケースカンファレンスの場も活用して積極的な個別ケース検討に努めたい。						







O4 情報提供、相談体制の充実	達成状況	指標数	1	1	1	1	1	
		達成数	1	1	1	1	0	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O401 ニーズに対応したサー ビス内容の情報提供と 相談体制の強化	利用者支援事業、 子育て支援セン ター実施か所数	R2 8か所	目標値 実績値 評価	8 8 ○達成	8 8 ○達成	8 8 ○達成	8 8 ○達成	
年度評価							単位 か所 以上	担当課 幼児教 育課
R3	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センタ（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。							
R4	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センタ（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。							
R5	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センタ（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。							
R6	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センタ（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。							

O5 幼稚園及び保育園の再配置計画の 策定	達成状況	指標数	1	1	1	1	1	
		達成数	1	1	1	1	0	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O501 幼稚園及び保育園の認 定こども園を見据えた 再編	認定こども園整備 数	R2 〇園	目標値 実績値 評価	1 1 ○達成	0 0 ○達成	0 0 ○達成	0 0 ○達成	
年度評価							単位 園 以上	担当課 幼児教 育課
R3	O501 令和3年度に、民営保育所1園を認定こども園として開所した。公立園は、子ども・子育て会議にて審議し、再編計画の策定に向けて取り組んだ。							
R4	O501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和3年度に策定した再編計画に基づき、幼保の職員で構成するワーキンググループを立ち上げ、会議を開催した。							
R5	O501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和3年度に策定した再編計画に基づき、幼保の職員で構成するワーキンググループによる会議の開催やこども園の視察を実施した。							
R6	O501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和3年度に策定した再編方針に基づき、個別計画の策定に向けて準備した。							

※6 お達者度は令和5年度に公表された令和2年度実績をもって廃止となり、令和6年9月9日に公表された令和3年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなったため、成果指標を変更する。令和3年度以降の実績を集計し、令和8年度以降の目標値を推計していく。

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）		指標数	18	18	18	18	18	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況			
		達成数	5	6	5	5	0				
		達成率	27.8%	33.3%	27.8%	27.8%	0.0%				
O1 健康で生きがいのある暮らしの支援		達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
O101 健康福祉センター等の活用		R1 44,984人	目標値	28,000	33,000	39,000	46,000	55,000	人 以上	高齢者 福祉課	
O102 居場所の開催			実績値	83,107	38,745	13,347	20,782				
O103 高齢者の社会参加の支援			評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
		R1 46か所	目標値	60	70	80	90	100	か所 以上	高齢者 福祉課	
			実績値	54	54	51	56				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
		— ※7	目標値	40	50	60	70	80	人 以上	高齢者 福祉課	
			実績値	34	45	36	33				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
年度 評価	R3	O101 実績値上、目標値を超えていたが、健康福祉センターは新型コロナウイルス感染症ワクチン接種会場であったことから、利用者の大半はワクチン接種者であり、実質的には評価の対象とならない。									
	R3	O102 各圏域の生活支援コーディネーターが地域へ出向き、立上げ支援を行っていたが、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、コーディネーターの活動に制限が出たことから、目標には到達しなかった。									
	R3	O103 ボランティア養成研修は当初52人の申込みがあり、目標値を上回っていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、急きょ日程を変更したことで、研修受講者数が目標を下回った。今後は研修日程等を検討していく。									
	R4	O101 目標値を上回ったが、その内容は、昨年度同様新型コロナワクチン接種会場としての利用者数であることから、評価の対象とならないと考える。									
	R4	O102 目標値を下回ったものの、コロナ禍にも関わらず減少とはならなかった。令和5年度も引き続き、各圏域の生活支援コーディネーターと包括支援センターと協働し、地域での立上げ支援を行っていく。									
	R4	O103 目標値を下回ったものの、コロナ禍でもボランティア活動に関心が高いことが伺えたことから、引き続き、生活支援センターと協働し、地域での「助け合い活動」ボランティアとしての活動を視野に入れた取組を周知していく。									
評価	R5	O101 目標値を下回ったが、新型コロナワクチン接種会場として通年予約をし、一般利用が制限されていたため、評価の対象とならないと考える。									
	R5	O102 居場所代表者の高齢化により、継続ができず終了となる居場所があった。各圏域の生活支援コーディネーターと地域包括支援センターと協働し継続支援を行っていく。									
	R5	O103 目標値に達していないものの、ボランティア活動を自身の介護予防と捉え、楽しみながら参加される方が多かった。									
評価	R6	O101 年間を通じ利用制限はなかったが、告知等が行き届いておらず、目標値を下回ってしまった。今後、広報等を通じ、施設利用の告知を行い利用者の増加に努めていきたい。									
	R6	O102 生活支援コーディネーターと地域包括支援センターが協働し、居場所が必要と思われる地域に直接出向き、立上げ支援等を行った結果、箇所数の増加となった。課題として代表者の高齢化により、居場所の継続が困難となる箇所があるため、継続に向けた事業の見直しを行う必要がある。									
	R6	O103 目標値を下回ったが、ボランティア活動に参加されている方の意識が、自身の介護予防のためだけではなく、楽しみながら続けたいとの思いが聞かれるようになった。引き続き、ボランティア活動の周知を行っていく。									

※7 令和3年度からの新たな事業であるため、基準値はーとした。

O2 介護予防の推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	0	0	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	
O201 訪問型・通所型サービスを活用した介護予防	サービスC利用者数（実人数） R1 146人（単年）	R1 146人（単年）	目標値	170	185	200	215	230	人以上 高齢者福祉課	
O202 一般介護予防教室や健 康体操クラブなどを通じた介護予防			実績値	122	143	146	125			
O202 一般介護予防教室や健 康体操クラブなどを通じた介護予防			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O201 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、通所型サービスの利用が見込みより少なかった。委託事業所の感染予防対策がされていることや事業参加への効果について、地域包括支援センターの職員ともに対象者に対して必要性を伝えていく。	R1 15,007人	R1 15,007人	目標値	15,800	16,600	17,400	18,200	19,000	人以上 高齢者福祉課	
O202 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催会場となっていたコミュニティセンターや生涯学習センター等が使用できない期間があったことから、目標値を大きく下回った。			実績値	4,849	14,806	12,630	16,413			
O201 感染予防対策を施し事業を実施したが、感染リスクの不安による利用控えから目標値を下回った。外出控え等により生活機能低下者の増加が見込まれるため、本事業に参加することの有益性を広く周知し今後も積極的に利用を働きかけていく。			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O201 参加者が安心して参加できるよう感染予防対策や人数制限を行って開催したが、感染リスクの不安から参加を自粛するとの声もあり目標値を下回った。コロナ禍で外出を控えたことで筋肉量の低下等が心配されるため、転倒リスクを計測する歩行解析アプリ「トルト」を活用し、一人一人に合わせた運動の提供を行い、参加を促す。	R2 R3	R2 R3	O202 熱中症予防のため、8月は全18会場を休みにしたことで、実施回数と実績値の減少となった。							
O201 サービス提供を停止した事業所があり、サービス提供可能定員数が減少したことにより、目標値を下回った。引き続き、本事業の効果を含めた周知を広く行き、どの段階の対象者へのアプローチが有効であるのか、他市町の体制も参考に検討していく。			O202 令和5年度までは参加会場が指定されていたものの、令和6年度からは市内の会場どこでも参加できるようになったため、前年度よりも実績値が増加した。しかし、6月からの猛暑による外出控えがあり、参加者が大幅に伸びない原因のひとつとなっている。引き続き、健康体操クラブが猛暑のため休みとなる8月に向けて、事前に歩行解析アプリで測定した結果を基に、個々に合った自宅でできる自主トレーニングのメニューを6月から7月にかけて指導するとともに、本事業に参加することの有益性を広く周知し積極的に利用を働きかけていく。							

O4 高齢者の権利擁護		達成状況	指標数	3	3	3	3	3
			達成数	1	2	2	2	0
			達成率	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位
O401 地域包括支援センターを中心とした多職種協働による取組	司法書士を招いた合同相談会における相談件数	R1 14件	目標値	14	16	18	20	22
O402 成年後見制度の活用	成年後見人等への報酬支払助成件数		実績値	0	9	2	0	
O403 高齢者虐待の防止	伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会等への参加		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	
R3	O401 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、相談会をとりやめ、各地域包括支援センターや認知症疾患医療センターの紹介パンフレットをショッピングセンターに展示した。今後は、一部リモートで相談を行うハイブリッド方式による相談会の実施を検討していく。	R1 年 1回	目標値	3	4	5	6	7
	O402 経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も比例して増加している。		実績値	9	8	16	12	
	O403 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催が中止となり、各機関による虐待対応実績の報告資料を共有するのみとなった。今後は事例検討を行えるように、コロナ禍における開催方法を検討していく。		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	
R4	O401 個人情報保護及び新型コロナウイルス感染予防のため、個別相談に適した環境を整えたが、立ち寄って相談するという方は少なく目標を下回った。今後、相談会の周知方法の改善やミニ講話の実施など認知度の向上に向けた取組を行っていく。	R1 年 1回	目標値	1	1	1	1	1
	O402 経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。		実績値	0	1	1	1	
	O403 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会を書面にて開催した。各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。		評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	
R5	O401 終活講座や対島地域包括支援センターが主体として実施する「いきいき健康フェスタ」等において、司法書士と協働で相談対応をする機会が増えたことに伴い、合同相談会における相談件数が目標値を下回った。	R1 年 1回	目標値	1	1	1	1	1
	O402 高齢化率の増加に比例し、経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。		実績値	0	1	1	1	
	O403 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会を書面にて開催した。各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。		評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	
R6	O401 合同相談会については、司法書士の派遣を依頼している公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート静岡支部との調整が合わなかつたため、他の専門職を招いて開催したが、終活講座や対島地域包括支援センターが主体として実施する「いきいき健康フェスタ」等において、司法書士と協働で相談対応をする機会を創出した。引き続き、司法書士との連携を図るとともに、協働で高齢者の権利擁護に係る相談を受ける機会を増やしていく。	R1 年 1回	目標値	1	1	1	1	1
	O402 高齢化率の増加に比例し、経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。		実績値	0	1	1	1	
	O403 書面にて開催された、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会に各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。		評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	



06 介護保険サービスの向上	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
		達成数	0	0	1	1	0	
		達成率	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
0601 介護給付費適正化の推進	市の指定事業所への実地指導回数 23回	R1	目標値 32	32	32	32	32	回以上 高齢者福祉課
			実績値 6	22	36	24		
0602 介護保険相談員の配置	介護保険事業所訪問回数 ※8	—	目標値 24	24	24	24	24	件 高齢者福祉課
			実績値 0	0	18	24		
年度評価	0601 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため目標どおり実施することはできなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。							
	0602 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、事業所への訪問ができなかった。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。							
	0601 新型コロナウイルス感染症の影響により、実地指導が難しい状況ではあったが、令和4年度も目標値を下回った。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類移行となるため、実地指導を確実に実施していきたい。							
	0602 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所へ訪問しての相談・支援ができなかった。令和5年度は、訪問時期など、受け入れ側に負担とならない工夫をして、実施していきたい。							
	0601 新型コロナウイルス感染症の5類移行後、運営指導を月2～4回行い、3年以上実地指導を実施していない事業所はなくなった。							
	0602 新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、令和5年6月から訪問を開始した。事業所利用者からの聞き取り内容を、事業所責任者へ直接伝え、業務改善につながった。							
R3	0601 運営指導の事前提出資料の様式変更に伴い、令和6年8月から月2～4件の頻度で運営指導を実施したため、目標値を下回った。 令和7年度以降は、月2～4件の頻度で実施していき、目標達成を目指す。							
	0602 介護保険相談員による事業所への訪問は、目標どおり実施できた。利用者の声を事業所へ伝えることで、運営の改善を図ることができた。							

※8 介護保険相談員の配置は、令和元年度からの新規事業であるが、新型コロナウイルス感染症拡大により事業所への訪問実績がないため、基準値は一となっている。また、目標値は、新型コロナウイルス感染症がなかった場合の設定としている。(月2回×12か月=24件)

07 介護人材の育成	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
		達成数	0	0	0	0	0	
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
0701 基準緩和型サービス研修による人材の養成	基準緩和型サービス研修の育成数 48人	R1	目標値 50	50	50	30	30	人以上 高齢者福祉課
			実績値 25	27	30	20		
0702 養成した人材を必要とする介護事業所とのマッチング	上記受講者の内の事業所採用者数 9人	R1	目標値 10	10	10	10	10	人以上 高齢者福祉課
			実績値 7	6	1	6		
年度評価	0701 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、受講者数を限定し、席の間隔を空けて実施したため、目標どおり実施することはできなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。							
	0702 基準緩和型サービス研修による人材の養成の実績値（人数）の中で、介護事業所とのマッチングを行うため、目標には到達しなかった。							
	0701 新型コロナウイルス感染予防のため、研修の人数の定員を制限していることから、目標値を下回った。受講希望の多い研修であるので、感染予防に配慮しつつ、実施方法等の見直しを図っていきたい。							
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されたため、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。							
	0701 研修の人数の定員を制限しなかったが、周知方法が不十分だったため、目標値を下回った。受講希望の多い研修であるので、感染予防に配慮しつつ、実施方法等の見直しを図っていきたい。							
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されたため、引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。							
R3	0701 新たに高校生も参加し、介護職場の正しい理解促進及び将来の介護人材育成を図ったものの、目標値を下回った。今後は、社会人が研修を受講しやすいよう、開催時期等の見直しを図っていきたい。							
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されているため、当初の目標値を達成することが困難となっている。引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。							
R4	0701 新たに高校生も参加し、介護職場の正しい理解促進及び将来の介護人材育成を図ったものの、目標値を下回った。今後は、社会人が研修を受講しやすいよう、開催時期等の見直しを図っていきたい。							
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されているため、当初の目標値を達成することが困難となっている。引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。							
R5	0701 新たに高校生も参加し、介護職場の正しい理解促進及び将来の介護人材育成を図ったものの、目標値を下回った。今後は、社会人が研修を受講しやすいよう、開催時期等の見直しを図っていきたい。							
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されているため、引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。							
R6	0701 新たに高校生も参加し、介護職場の正しい理解促進及び将来の介護人材育成を図ったものの、目標値を下回った。今後は、社会人が研修を受講しやすいよう、開催時期等の見直しを図っていきたい。							
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されているため、当初の目標値を達成することが困難となっている。引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。							



R 6 年 度	1(実績評価)・電話相談等の多様な相談手段により、前年を下回ったものの、相談件数は目標値を上回った。  (次年度修正点)・相談件数はコロナ渦以降減少傾向にある。また、相談支援事業所及びその相談員が増えないため、修正はなし。
	2(実績評価)・発達障害などの軽度の障害に対する理解が進み、放課後デイサービス等、障がい児の利用者が増加した。また、令和6年度中に新規自立訓練事業所の開設もあり、利用者が前年度より増加した。  (次年度修正点)・今後も相談支援事業所等からの報告を受け、障害福祉サービスの必要な方へ支給決定を行う。
	3(実績評価)・市内企業の障がい者雇用率は増加傾向にあるが、目標値までは達成していない状況である。  (次年度修正点)・令和8年度以降法定雇用率が引き上げられるため、より一層ハローワーク伊東等と連携を強化し、法定雇用率の確保を目指す。
	4(実績評価)・障害者就労・生活支援センター・就労継続支援事業所の支援により、前年より微減であるが、目標値を上回った。  (次年度修正点)・引き続き、ハローワーク伊東等と連携を図る。

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）	指標数 9 9 9 9 9					※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
	達成数 6 5 8 7 0						
	達成率 66.7% 55.6% 88.9% 77.8% 0.0%						
O1 相談体制及び情報提供の充実	達成状況	指標数 3 3 3 3 3	達成数 3 2 3 3 0	達成率 100.0% 66.7% 100.0% 100.0% 0.0%			
主な内容	管理指標	基準値 R3 R4 R5 R6 R7				単位 担当課	
O101 相談支援の充実	相談支援事業所における専門職の割合	R1 100% 目標値 100 100 100 100 100 実績値 100 100 100 100 100 評価 ○達成 ○達成 ○達成 ○達成				% 社会福祉課	
O102 各相談会の広報への掲載	広報いとう及びホームページへの掲載回数	R1 12回 目標値 12 12 12 12 12 実績値 12 12 12 12 12 評価 ○達成 ○達成 ○達成 ○達成				回以上 社会福祉課	
O103 障がい福祉サービスについての情報提供の充実	新規障害福祉サービス利用者数	R1 86人 目標値 80 70 65 60 55 実績値 81 57 86 65 評価 ○達成 ×未達成 ○達成 ○達成				人以上 社会福祉課	
R 3 年 度 評 価	O101 相談支援事業所の従事者については、全員が専門職である状況である。						
	O102 毎月、広報いとうに相談会の日程を掲載した。						
	O103 児童の事業所が新規開設したことが一因と考えられるが、新規利用者数の目標値を達成できた。						
	O101 令和4年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。						
	O102 補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。						
	O103 目標値を下回ったものの、これまで障がい福祉サービスを利用していないかった対象者に周知することで、新規利用につながった。その結果、継続者を含む支給決定者数（障害福祉サービス利用者の実数）が増加していることに伴い、今後の新規障がい福祉サービス利用者数の減が見込まれることから、目標値を変更した。						
R 4 年 度 評 価	O101 令和5年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。						
	O102 補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。						
	O103 障害児福祉サービスの新規利用者が大幅に増加したことによる。						
R 5 年 度 評 価	O101 令和6年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。						
	O102 補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。						
	O103 令和6年度の新規利用者の内訳は、身体13人、知的9人、精神23人、障がい児20人となり、前年を下回ったものの、目標値を上回った。						
R 6 年 度 評 価	O101 令和6年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。						
	O102 補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。						
	O103 令和6年度の新規利用者の内訳は、身体13人、知的9人、精神23人、障がい児20人となり、前年を下回ったものの、目標値を上回った。						

O2 障がい福祉サービスの充実	達成状況	指標数	1	1	1	1	1
		達成数	0	0	1	1	0
		達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7
O201 热海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会における障がい福祉サービス事業所との協議及び連携による問題解決	热海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会の専門部会における事例検討会の実施回数	R1 6回	目標値 実績値 評価	7 3 × 未達成	7 0 × 未達成	4 6 ○ 達成	4 6 ○ 達成
R3	O201 専門部会がリモートでの開催となり、事例検討を行う機会が少なくなり、目標を達成できなかった。						
R4	O201 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催によって課題検討が多く行われた。今後、障がい福祉サービスの充実を目的として、課題検討や講師を招いた勉強会を開催するとともに、各部会にて年1回以上は事例検討会を実施する。今後も、事例検討会以外の対応策を講じることから、目標値を変更した。						
R5	O201 対面にて専門部会を行い、3つの専門部会において、事例検討会を行った。						
R6	O201 3つの専門部会において、事例検討会（グループワーク）を行った。						

O3 障がい者（児）への理解の促進・啓発	達成状況	指標数	3	3	3	3	3
		達成数	1	1	2	2	0
		達成率	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7
O301 事業所授産品等の展示会・販売会の開催	障がい者による授産品の販売会の開催回数	R1 10回	目標値 実績値 評価	11 1 × 未達成	11 8 × 未達成	11 13 ○ 達成	11 11 ○ 達成
O302 障がい者（児）と地域の相互理解の促進	中高生に対する体験授業等及び障害者スポーツ大会の実施回数	R1 2回	目標値 実績値 評価	2 0 × 未達成	2 1 × 未達成	2 1 × 未達成	2 1 × 未達成
O303 障がい者（児）虐待防止のための啓発活動の充実	啓発活動(街頭啓発等)の実施回数	R1 1回	目標値 実績値 評価	2 2 ○ 達成	2 2 ○ 達成	2 2 ○ 達成	2 2 ○ 達成
R3	O301 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授産品の販売会を中止し、1回のみの開催となった。 O302 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度の事業が中止となった。 O303 ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。						
R4	O301 販売会を開催予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。 O302 障害者スポーツ大会の開催を予定していたが、開催直前に新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。 O303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。						
R5	O301 定期的な販売会以外に障害者就労施設等のPRのため、伊東マリンタウンにて販売会を行った。 O302 新型コロナウイルス感染防止のため、障がい者スポーツ大会を中止した。 O303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。						
R6	O301 定期的な販売会を市役所内にて行った。 O302 障がい者スポーツ大会開催前に新型コロナウイルス感染症が事業所内で蔓延していたことから、全体での開催を中止し、各事業所にて開催した。開催に当たり、景品代の助成をしたもの、地域との関わりはなかったため、今後は地域の相互理解の促進に向けた効果的なスポーツ大会の開催方法を検討していく。 O303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。						

O4 障がい者雇用の推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
			達成数	2	2	2	1	0	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課	
O401 ハローワーク等の関係機関との連携	就労関係機関が参加する特別支援学校の就職相談会への参加回数	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上 社会福祉課
			実績値	2	2	2	2		
O402 熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会就労支援部会の充実	就労問題に関する事例検討会の実施回数	R1 6回	目標値	6	6	6	6	6	回以上 社会福祉課
			実績値	6	16	14	5		
			評価	○達成	○達成	○達成	○達成	×未達成	
年度	O401 就労促進協議会に2回参加し、特別支援学校の卒業見込みの生徒の進路相談を行った。								
	O402 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート会議となった場合もあったが、就労支援部会にて、障がい者の就労問題を協議した。								
評価	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。								
	O402 就労部会及びそれに付随する部会に参加した。								
R3	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。								
	O402 就労支援部会等で事例検討を行った。								
R4	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて3年生の進路相談会に参加した。								
	O402 就労支援部会等で事例検討を行ったが、目標値を下回った。引き続き、就労部会及びそれに付随する部会に参加し、増加を目指す。								
R5	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて3年生の進路相談会に参加した。								
	O402 就労支援部会等で事例検討を行ったが、目標値を下回った。引き続き、就労部会及びそれに付随する部会に参加し、増加を目指す。								
R6	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて3年生の進路相談会に参加した。								
	O402 就労支援部会等で事例検討を行ったが、目標値を下回った。引き続き、就労部会及びそれに付随する部会に参加し、増加を目指す。								

担当課	社会福祉課	施策2－7の全指標達成率					
政策目標	2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	7 地域福祉の充実	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿	支援を必要とする人が住み慣れた地域の中で支え合い共に暮らすことができる 地域の多くの人が地域福祉活動等へ参加することで地域が活性化される	達成数	9	8	9	7	0
		達成率	64.3%	57.1%	64.3%	50.0%	0.0%

1 成果指標（KPI）		指標数	2	2	2	2	2
		達成数	1	0	1	0	0
		達成率	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

成果指標 1	「地域内の助け合いなどの地域福祉の充実」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 % 社会福祉課 以上
		R2	目標値 63.2%	64.0	64.0	64.0	65.0	
		実績値	64.3	62.4	64.1	63.9		
目標値の考え方	平成30年度実績63.4%、令和元年度実績59.0%で、令和元年度以前3年間の平均割合が61.53%。年度により評価に差があるため、安定した評価が得られるよう業務に取り組み、基準値から2%以上の上昇が達成できるよう65.0%以上とした。	評価	○達成	×未達成	○達成	×	未達成	

目標値の考え方	平成30年度実績34件、令和元年度実績18件と利用数が減少傾向にあることから、地域の実情と利用者のニーズ把握に努め、ボランティア活動の利用増を目指していくため、毎年10件増の目標値設定とした。	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 件 社会福祉課 以上
		R1	目標値 18件	25	30	40	50	
		実績値	8	7	9	10		
評価	×未達成	×未達成	×未達成	×未達成				

目標値の考え方	平成30年度実績34件、令和元年度実績18件と利用数が減少傾向にあることから、地域の実情と利用者のニーズ把握に努め、ボランティア活動の利用増を目指していくため、毎年10件増の目標値設定とした。	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 件 社会福祉課 以上
		R1	目標値 18件	25	30	40	50	
		実績値	8	7	9	10		
評価	×未達成	×未達成	×未達成	×未達成				

R3 年度	1(実績評価)・目標値を0.3%上回り目標に達することができた。
	(次年度修正)・地域福祉に関連する各個別計画を推進していくことで、評価が安定するよう努めていく。
	2(実績評価)・続くコロナ禍の影響により活動にも制限が見られ、件数を伸ばすことができなかった。

R4 年度	2(実績評価)・行動自粛が久しく続き、活動に関する認知度の低下が懸念されることから、事業の周知に努めていく。
	1(実績評価)・コロナ禍で閉塞的な日常、不安を感じる日々が長く続き、多くのことが疎遠になってしまったことが、一人ひとりの不安を生み「満足していない」数値に現れたと思われる。
	(次年度修正)・新型コロナウイルス感染症の影響で人ととの関わり合いが薄れ、相談や支援が行き届かなくなっていることから、まずは地域福祉に関する広報活動を積極的に行い、関わり合いができる環境に戻れるよう努めていく。

R5 年度	2(実績評価)・コロナ禍であったこともあり、積極的な周知活動等は控えていたため、利用数が伸びることはなかった。
	1(実績評価)・地域福祉に関する取組が評価され、1年ぶりに実績値が64%台に回復し、目標値を0.1%ながら上回ることができた。
	(次年度修正)・新たに策定された地域福祉計画を推進していくことで、目標値の達成に努めていく。

R6 年度	2(実績評価)・個人からの依頼は減ったまま回復せず、件数を伸ばすことができなかった。
	1(実績評価)・少子高齢化や核家族化の更なる進行に伴い、隣近所との付き合いが減り、人間関係の希薄化が進むなど、多くのことが疎遠になってしまったことが、一人一人の不安を生み、「満足していない」数値に現れ、目標値を下回る結果となったと思われる。
	(次年度修正)・人ととの関わり合いが薄れ、相談や支援が行き届かなくなっていることから、地域福祉に関する広報活動を積極的に行い、関わり合いができる環境づくりに努めていく。

R6 年度	2(実績評価)・昨年度より件数は増加したが、個人からの依頼は減ったまま回復せず、件数を伸ばすことができなかった。
	(次年度修正)・引き続き、事業所との情報交換や各種催しにおいてニーズ調査を行うなどの取組を検討していく。
	1(実績評価)・地域福祉に関する取組が評価され、1年ぶりに実績値が64%台に回復し、目標値を0.1%ながら上回ることができた。

R6 年度	1(実績評価)・引き続き、事業所との情報交換や各種催しにおいてニーズ調査を行うなどの取組を検討していく。
	2(実績評価)・引き続き、事業所との情報交換や各種催しにおいてニーズ調査を行うなどの取組を検討していく。
	1(実績評価)・地域福祉に関する取組が評価され、1年ぶりに実績値が64%台に回復し、目標値を0.1%ながら上回ることができた。

R6 年度	O1 社会福祉関係団体が行う地域福祉活動の支援 O101 子ども・高齢者・障がい者の地域交流が図られるイベントの推進	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
		達成状況	目標数 2,344人	達成数 0	達成率 0.0%	目標数 1,500	達成数 0	
		評価	×未達成	×未達成	○達成	×	未達成	
評価	O101 コロナ禍におけるイベント自粛が続いたため、交流イベントを開催することができなかった。							

R6 年度	O101 令和4年度は台風接近により事業が中止。新型コロナウイルス感染症や台風など、外的な要因により中止が続いているため、引き続き安全面を考慮し開催を行う。令和5年度はコロナ禍を経てイベント形態も以前と変わり、ブース間の距離をとり感染症対策も継続するなど、全体的に規模の縮小化を図ることから、令和5年度の目標値を修正するとともに、安全面に配慮しつつ、段階的な増加を目指す。	指標数	12	12	12	12	12	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		達成数	8	8	8	7	0	
		達成率	66.7%	66.7%	66.7%	58.3%	0.0%	

R6 年度	O101 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、対面形式でのイベントが開催されたことから目標を達成することができた。	指標数	1	1	1	1	1	人 社会福祉課 以上
		達成数	0	0	1	0	0	
		達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

R6 年度	O101 令和6年度のイベント形態が令和5年度と同様であるため、参加者数も昨年度と同様の数値となり、目標を達成することができなかった。引き続き、安全面に配慮しつつ、段階的な増加を目指す。	指標数	12	12	12	12	12	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		達成数	8	8	8	7	0	
		達成率	66.7%	66.7%	66.7%	58.3%	0.0%	

O2	介護・障がい福祉事業所における専門職不足の解消	達成状況	指標数	1	1	1	1	1
			達成数	1	1	0	0	0
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
O201	Uターン等により市内事業所に就業する有資格者に対する公的支援の実施	R2から募集3年間で30人(移住者)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7
			目標値	10	10	30	30	-
			実績値	47	38	14	14	-
年度評価			評価	○達成	○達成	×未達成	×未達成	
			R3	O201 目標値を大きく上回る申請があり、市内事業所における専門職人材の確保に繋がった。				
			R4	O201 前年度に比べ申請者は減ったが、目標値を超えることができた。				
			R5	O201 支援メニューの変更により利用者が減った結果、目標値を達成することができなかった。				
			R6	O201 支援メニューの変更により利用者が減った結果、目標値を達成することができなかった。引き続き、専門資格者の不足を把握するとともに、事業の広報活動を見直し、増加を目指す。				
				単位	担当課	人	社会福祉課	以上



担当課	市民課・社会福祉課・教育指導課	施策2－8の全指標達成率					
政策目標	2 誰もが健やかに暮らしあげできるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	8 多様性のある社会の実現	指標数	10	10	10	10	10
目指す姿	市民がお互いの個性と多様性を認め合い、いきいきと暮らすことができる	達成数	5	4	6	5	0
		達成率	50.0%	40.0%	60.0%	50.0%	0.0%

1 成果指標（KPI）			指標数	1	1	1	1	1	
			達成数	0	0	0	0	0	
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
成果指標	「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課 % 市民課 以上	
		R2 59.2%	目標値 実績値 評価	60.2 57.0 × 未達成	61.4 54.6 × 未達成	62.6 62.0 × 未達成	63.8 60.8 × 未達成		
目標値の考え方	お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現に満足している市民の割合は、令和2年度からの調査項目であり、各年度1%程度の上昇を見込み、65.0%とした。								
R3年度	<p>(実績評価) • 令和3年度実施の市民満足度調査結果は実績値57.0%で、目標値及び基準値よりも低い結果となり、「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができなかった。</p> <p>(次年度修正点) • 各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、確実に実行する。</p>								
R4年度	<p>(実績評価) • 令和4年度実施の市民満足度調査結果は実績値54.6%で、目標値及び基準値よりも低い結果となり、「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができなかった。</p> <p>(次年度修正点) • 各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、回数を管理指標としているものについては確実に実行する。</p>								
R5年度	<p>(実績評価) • 令和5年度実施の市民満足度調査結果は実績値62.0%で目標値未達成であったが、「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができた。</p> <p>(次年度修正点) • 引き続き各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、回数を管理指標としているものについては確実に実行する。</p>								
R6年度	<p>(実績評価) • 令和6年度実施の市民満足度調査結果は実績値60.8%で、目標値及び前年度よりも低い結果となり、「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができなかった。</p> <p>(次年度修正点) • 引き続き各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、回数を管理指標としているものについては確実に実行する。</p>								

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）			指標数	9	9	9	9	9	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
			達成数	5	4	6	5	0 <th data-kind="ghost"></th>		
			達成率	55.6%	44.4%	66.7%	55.6%	0.0%		
O1 人権を尊重する社会の推進	O101 人権教室等、人権に関する啓発活動の充実	達成状況	指標数	1	1	1	1	1	回 市民課 以上	
			達成数	1	1	1	1	0		
	主な内容	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課		
R3	O101 広報紙等を利用した情報発信、啓発を行うとともに、人権擁護委員の協力を得て人権教室や街頭啓発活動等の各種啓発を行い、人権尊重意識の高揚を図った。令和3年度において目標値を達成したため、令和4年度以降の目標値を引き上げる。	R2 6回	目標値	8	10	11	11	11	回 市民課 以上	
			実績値	10	11	11	11	11		
R4	O101 広報紙等を利用した情報発信を行うとともに、人権擁護委員の協力を得て幼稚園・小学校での人権教室、小学生の人権ポスター・花パネル展及び街頭啓発活動等を実施し、人権意識の醸成を図った。令和4年度において目標値を達成したため、令和5年度以降の目標値を引き上げる。		評価	○ 達成						
R5	O101 広報紙等を利用した継続的な情報発信を行うとともに、人権擁護委員の協力を得て幼稚園・小学校での人権教室、小学生の人権ポスター・花パネル展及び街頭啓発活動等を実施し、人権意識の醸成を図った。									
R6	O101 広報紙等を利用した継続的な情報発信を行うとともに、人権擁護委員の協力を得て幼稚園・小学校での人権教室、小学生の人権ポスター・花パネル展及び街頭啓発活動等を実施し、人権意識の醸成を図った。									

O2 男女共同参画社会の推進		達成状況	指標数	1	1	1	1	1
			達成数	0	0	0	0	0
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7
O201 伊東市男女共同参画「あすを奏でるハーモニープラン」における取組の充実	男女共同参画社会の推進に満足している市民の割合(市民満足度調査)	R2 64.9%	目標値	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0
			実績値	58.5	56.4	60.8	62.0	
			評価	×	未達成	×	未達成	×

O3 配偶者等暴力防止対策の推進		達成状況	指標数	1	1	1	1	1
			達成数	0	0	1	1	0
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7
O301 DV防止のための啓発活動の充実	啓発活動(街頭啓発・関係機関への周知・ポスター等の掲出等)の実施回数	R1 1回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	2	3	3	
			評価	×	未達成	×	未達成	○ 達成 ○ 達成
年度評価	R3	O301 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会は書面開催とした。厚生労働省「支援情報検索サイト」に相談窓口の情報を掲載した。						
R4	O301 前年度に引き続き、「伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会」(書面開催)の中での啓発及び厚生労働省の「支援情報検索サイト」への相談窓口情報の掲載に留まつたため、関係機関との協議等も含めて新たな啓発活動の展開を図っていく。							
R5	O301 「伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会」(書面開催)の中での啓発及び厚生労働省「支援情報検索サイト」への相談窓口情報の掲載を実施した。また、市役所1階女子トイレに内閣府男女共同参画局「DV相談ナビ#8008」のカードを利用者の目に届くところに掲示した。							
R6	O301 11月12日から25日までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、市内ショッピングセンターにおいて高齢者福祉部門、子育て支援部門と協調して、啓発グッズの配布活動を行った。また、厚生労働省「支援情報検索サイト」へ相談窓口情報を掲載した。さらに、内閣府男女共同参画局「DV相談ナビ#8008」のカードを市役所1階女子トイレ内の利用者の目に届くところに掲示した。							

O4 心ゆたかな子どもの育成		達成状況	指標数	1	1	1	1	1
			達成数	1	0	0	0	0
			達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7
O401 教育活動全体を通じた計画的・組織的な人権教育の推進	「友だちのことを思いやり行動することができる」児童生徒の割合	R2 91.0%	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0
			実績値	93.1	92.8	93.7	92.4	
			評価	○ 達成	×	未達成	×	未達成
年度評価	R3	O401 道徳の教科化に伴う授業改善、各教科や行事・活動の中で人権意識や人権感覚を高める取組を推進してきたことにより、小・中ともに目標値を上回ることができた。						
R4	O401 各校は、道徳の授業だけでなく、日常生活の中でも他を思いやる気持ちが育まれるように努めてきたが、目標値をわずかに下回った。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う教育活動の制限が緩和されるため、児童生徒間のかかわりが増えていることが期待できる。このような活動を通して、思いやりの心を育てていきたい。							
R5	O401 目標値をわずかに下回った。各校では、道徳の授業だけでなく、日常生活の中で他者のよさを見つける活動を今後も継続して取り組み、思いやりの気持ちが育まれるようにする。							
R6	O401 目標値と昨年度の数値を下回った。しかし依然として90%を超える高い数値を継続しているので、引き続き人の気持ちを考えながら行動できる子どもを育てていく手立てを継続していく。							

05 障がい者（児）への理解の促進・啓発		達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
			達成数	1	1	2	2	0	
			達成率	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課	
0501 事業所授産品等の展示会・販売会の開催	障がい者による授産品の販売会の開催回数	R1 10回	目標値	11	11	11	11	11	回以上 社会福祉課
0502 障がい者（児）と地域の相互理解の促進	中高生に対する体験授業等及び障害者スポーツ大会の実施回数		実績値	1	8	13	11		
0503 障がい者（児）虐待防止のための啓発活動の充実	啓発活動（街頭啓発等）の実施回数		評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成		
年度評価	0501 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授産品の販売会を中止し、1回のみの開催となった。	R3	目標値	2	2	2	2	2	回以上 社会福祉課
	0502 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度の事業が中止となった。		実績値	0	1	1	1		
	0503 ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		
R4	0501 販売会を開催予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。	R4	目標値	2	2	2	2	2	回以上 社会福祉課
	0502 障害者スポーツ大会の開催を予定していたが、開催直前に新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。		実績値	2	2	2	2		
	0503 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		
R5	0501 定期的な販売会以外に障害者就労施設等のPRのため、伊東マリンタウンにて販売会を行った。	R5	目標値	2	2	2	2	2	回以上 社会福祉課
	0502 新型コロナウイルス感染防止のため、障がい者スポーツ大会を中止した。		実績値	0	0	0	0	0	
	0503 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		
R6	0501 定期的な販売会を市役所内にて行った。	R6	目標値	2	2	2	2	2	回以上 社会福祉課
	0502 障がい者スポーツ大会開催前に新型コロナウイルス感染症が事業所内で蔓延していたことから、全体での開催を中止し、各事業所にて開催した。開催に当たり、景品代の助成をしたもの、地域との関わりはなかったため、今後は地域の相互理解の促進に向けた効果的なスポーツ大会の開催方法を検討していく。		実績値	0	0	0	0	0	
	0503 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		

担当課		保険年金課、健康推進課	施策2－9の全指標達成率					
政策目標	2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
施策分野	9 保険・年金制度の運営	指標数	15	15	15	15	15	
目指す姿	制度加入者が制度の理解を深め、生涯にわたり安心して保険・年金サービスを享受できる	達成数	9	9	9	11	0	
		達成率	60.0%	60.0%	60.0%	73.3%	0.0%	

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）		達成状況	指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
			達成数	7	7	7	9	0			
			達成率	53.8%	53.8%	53.8%	69.2%	0.0%			
O1 情報提供の充実		R3 R4 R5 R6	指標数	1	1	1	1	1	回以上 保険年金課		
			達成数	1	1	1	1	0			
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
主な内容			基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O101 窓口配架、広報紙、ホームページの活用、被保険者証や保険料（税）通知書へのパンフレット同封による配布			R1 広報実施回数 26回	目標値	27	28	29	30	31		
				実績値	36	37	42	41			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標が達成できた。										
	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。										
	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。										
	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。										
	O2 情報提供の充実	R3 R4 R5 R6	指標数	4	4	4	4	4	回以上 保険年金課		
			達成数	3	3	4	4	0			
			達成率	75.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
	主な内容		基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
	O201 関係機関との連携※9		R1 未納者対策用所得情報提供回数※9 3回	目標値	3	3	—	—	—		
				実績値	1	1	—	—	—		
				評価	× 未達成	× 未達成	—	—	—		
	O202 説明会・研修会への参加		R1 参加回数 27回	目標値	27	27	27	27	27		
				実績値	34	27	27	27			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	O203 窓口・電話対応	R3 R4 R5 R6	R1 課内研修回数 4回	目標値	4	4	4	4	4	回以上 保険年金課	
				実績値	4	4	4	4			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
	O204 相談会の実施		R1 開催回数 54回	目標値	54	54	54	54	54		
				実績値	54	54	60	54			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
	O205 関係機関との連携 ※9		R1 所得情報提供回数 ※9 3回	目標値	—	—	2	2	2		
				実績値	—	—	2	2			
				評価	—	—	○ 達成	○ 達成			
O201 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来と比べ規模が縮小されたため、目標の達成には至らなかった。											
O202 リモートや書面開催により、従来以上の参加回数が確保されたため、目標が達成できた。											
O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標が達成できた。											
O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標が達成できた。											
O201 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで、未納者の情報提供をする機会がなくなったことから、目標未達成となった。今後もマイナンバーによる連携を行うため、管理指標を見直し、管理指標O205を新設した。											
O202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。											
O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。											
O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。											
O205 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで情報提供回数等が減ったため、管理指標を新設した。											
O202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。											
O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。											
O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。											
O205 年金機構への所得情報提供（免除及び年金生活者支援給付金）を行ったため、目標を達成できた。											
O202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。											
O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。											
O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。											
O205 年金機構への所得情報提供（免除及び年金生活者支援給付金）を行ったため、目標を達成できた。											

※9 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで情報提供回数等が減ったため、管理指標O201を改め、管理指標O205を新設した。

O3 保険料（税）収納率向上		達成状況	指標数	2	2	2	2	2
			達成数	2	2	2	2	0
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
O301 口座振替等の便利な納付方法や減免制度についての周知強化	広報実施回数	R1 6回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	8	11	18	18	回以上 保険年金課
O302 各種手続・相談時の案内強化	課内研修回数	R1 4回	目標値	4	4	4	4	回以上 保険年金課
			実績値	4	4	4	4	
年 度 評 価	O301 市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標が達成できた。							
	O302 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標が達成できた。							
	O301 市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。							
	O302 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。							
	O301 市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。							
	O302 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。							

04 医療費適正化への取組		達成状況	指標数	6	6	6	6	6
			達成数	1	1	0	2	0
			達成率	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
0401 ジェネリック医薬品の普及促進	ジェネリック医薬品使用割合 75.9%	R1	目標値 実績値 評価	77.0 77.1 ○達成	78.0 78.4 ○達成	79.0 78.4 ×未達成	80.0 84.0 ○達成	81.0 以上 % 保険年金課
		49.8%						
0402 特定健康診査の実施 ※10	受診率	R1	目標値 実績値 評価	56.5 42.2 ×未達成	58.0 45.3 ×未達成	60.0 46.8 ×未達成	45.0 46.3 ○達成	48.0 以上 % 健康推進課
		31.3%						
0403 後期高齢者健康診査の実施	受診率	R1	目標値 実績値 評価	40.0 33.9 ×未達成	40.0 36.5 ×未達成	40.0 38.4 ×未達成	40.0 33.9 ×未達成	40.0 以上 % 健康推進課
		371人						
0404 一日人間ドックの実施	受診者数(国保) 69人	R1	目標値 実績値 評価	400 315 ×未達成	400 330 ×未達成	400 314 ×未達成	400 313 ×未達成	400 以上 人 健康推進課
		69人						
0405 健康指導の実施 ※10	特定保健指導実施率 33.8%	R1	目標値 実績値 評価	49.0 30.5 ×未達成	54.0 26.3 ×未達成	60.0 18.6 ×未達成	35.0 16.6 ×未達成	40.0 以上 % 健康推進課
		33.8%						
R3 年度 評価	0401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。							
	0402 新型コロナウイルス感染症拡大により、受診控えなどの影響に加え、積極的な受診勧奨を控えていた時期等があったため、受診率は減少した。							
	0403 後期高齢者被保険者対象者の増加傾向にあわせて、受診率は増加している。							
	0404 (国保) 応募は345人だったが、最終的に30人が未受診となった。新型コロナウイルス感染状況の影響もあったと考える。 (後期) 応募は145人だったが、最終的に9人が未受診となった。国保同様の理由が一因と思われる。							
	0405 保健師等からの電話による利用勧奨や、医療機関等による利用勧奨などを実施しているが、勧奨通知だけでは利用に至らないケースが多く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での指導を拒否するケースもあったため、実施率は減少した。							
R4 年度 評価	0401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。							
	0402 特定健診は新型コロナウイルス感染拡大の影響があるものの、勧奨等に工夫を加え受診行動に繋げるよう取り組んだことで、前年度を上回った受診率となったが、目標には至らなかった。引き続き県等の助言を受けながら、勧奨等に工夫を加え、受診対象者の行動変容を促したい。							
	0403 目標値を下回ったものの、後期高齢者健診事業では堅実な増加傾向がある。引き続き、目標達成に向けて事業周知をしていき、受診率の向上に繋げる。							
	0404 国保) 応募は358人だったが、最終的に28人が未受診となった。後期) 応募は172人だったが、最終的に23人が未受診となつた。国保は被保険者の減少傾向に応じた検討を図り、後期は被保険者の増加に応じて定員増を図ったが定員に達しなかつた。今後は応募及び被保険者の増減動向を見極めた募集定員設定等の対応を図りたい。受診者数の定員を増やしたことにより、目標値を修正した。							
	0405 個別対応となる特定保健指導については、経済活動を優先するなど利用を控える傾向が見られ、前年度を下回った。ICTの利活用など、対象者も気軽に利用できるサービス提供に努めたい。							
R5 年度 評価	0401 メーカーの葉機法違反を契機とした供給量の低下や、新型コロナウイルス感染拡大による需要の増加により、メーカーの限定出荷による供給不足が続いたため、目標を達成できなかつた。							
	0402 前年比増となつた。継続的受診勧奨事業が有効であった。今後の課題である未受診者へのアプローチを検討していく。							
	0403 前年比増となつた。国民健康保険で特定健診を受診した被保険者の継続受診が習慣化したものと推察する。引き続き、受診機会を維持提供していく。							
	0404 (国保) 応募は346人だったが、最終的に32人が未受診となつた。(後期) 応募は160人だったが、最終的に10人が未受診となつた。広報等で募集案内をしているが、定員に満たなかつたため、新たなデバイス(スマホ、PC)からの募集方法を図り、定員確保に努める。							
	特定保健指導対象者に対して面談方法等の機会を複数用意しているが、40、50歳代の利用率の低さに加えて、勧奨専門職員の確保が困難であった。引き続き、有資格者専門職員の安定的確保を図り、事業の充実に努めていく。							
R6 年度 評価	0401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。							
	0402 伊東市国民健康保険第3期データヘルス計画で設定した目標は達成できたが、前年比0.5ポイントの減となつた。健診未受診者の多くが治療中であるため、医療機関と連携して受診勧奨を行い、生活習慣病の重症化予防につなげていく。							
	0403 今年度初めて前年度の受診率を下回つた。医療も健診も受診していない健康状態不明者に対して事業周知をしていき、受診率の向上につなげる。							
	0404 (国保) 応募は363人だったが50人が未受診となつた。(後期) 応募は205人だったが当選者24人が未受診となつた。令和6年度から広報等での募集案内に加え、インターネット(ログフォーム)からの申請を導入し、申込者数は国保、後期高齢者ともに前年度より増加したが、未受診者数も増加した。未受診となる理由を把握し、検査内容等を検討する。							
	0405 前年度比2ポイントの減となり目標未達成となつた。特定保健指導の初回利用率の低下が要因となっているため、オンラインでの実施など利用者が取り組みやすい環境を整えるとともに特定保健指導の効果を周知し、実施率の増加を図り、生活習慣病を予防していく。							

\*10 令和6年度及び7年度の目標値については、伊東市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画に基づき、再設定した。